

• 2026 年 4 月 21 日 作成

- マツダ（株）マツダ病院で診察を受けられる方へ
- 研究協力をお願いについて

- 当院では、以下の臨床研究を実施しております。
- 本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合には下記のお問い合わせ先へご連絡ください。ご連絡のない場合においては、ご了承いただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- なお、この研究は、研究責任者の属するマツダ病院の倫理委員会の審査を受け、病院長の承認を得て行っているものです。

1. 研究課題名	口腔扁平苔癬（こうくうへんぺいたいせん）の病態およびリスク因子と治療法に関する遡及的（レトロスペクティブ）解析
2. 研究の概要	<p>口腔扁平苔癬などの口腔がんが悪性転化する可能性を有するお口の粘膜の疾患の中には、その原因や癌化する仕組みが解明されつつある疾患もみられます。しかし、日頃の臨床の現場で比較的多く見られる口腔扁平苔癬に関しては、明らかな病因は未だ解明されておらず、根本的な治療方法も確立していないのが現状です。そのため、現在の治療方法は痛みや不快感を改善するための治療が主たるものです。さらに、症状が継続する期間が年単位であることも珍しくなく、疼痛のため食事制限も多いことから、患者さんの生活の質の低下が問題になっています。</p> <p>本研究では口腔扁平苔癬の形態学的な変化や、カビが併発しているのかなど、治療による病気の変化および効果の高い治療方法の評価などに関して、この病気になった患者さんのカルテデータをもとに遡及的（レトロスペクティブ）解析を行います。これによって、治療効果等に対する質の高い証拠が得られれば、医療現場において医療者と患者の治療法の選択に役立つことが期待されます。</p>
研究期間	承認日 ～ 2027 年 12 月 31 日

研究の対象	2015年1月1日から2025年12月31日までにマツダ病院歯科口腔外科を受診し、口腔扁平苔癬の診断および治療を受けた患者さん
3. 研究の目的・方法について	この研究では、未だ根本的な治療方法が確立されていない口腔扁平苔癬の治療時の病理検査結果や細菌検査結果と治療方法との関連を調べることを目的としています。口腔扁平苔癬の治療を受けた患者さんの病理検査や細菌検査等の治療データを使って、治療方法の有効性等の解析を行います。
4. 研究に用いる試料・情報の項目	診療の際に得た情報を使用します。 情報：年齢、性別、臨床診断分類、病理検査結果、細菌検査結果、治療薬の種類、治療歴、画像
5. 研究機関の名称	マツダ（株）マツダ病院
6. 当院研究責任者	歯科口腔外科 坂本哲彦
7. 外部への試料・情報の提供や公表	☒なし
8. 個人情報の保護	研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報」として使用いたします。
9. 費用負担	この研究を行うあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。
10. 研究資金・利益相反*1)	本研究は当院の運営費で行われます。従って利益相反はありません。
11. 結果の公表	この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。
12. 研究への不参加の自由について	この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。参加をご了承いただけない場合には下記お問い合わせ先までご連絡ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことが困難な場合もあります。
備考	

\* 1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体などから経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

お問い合わせ先

マツダ（株）マツダ病院  
研究責任者：坂本哲彦（歯科口腔外科）  
電話：082-565-（代表）